

# 六甲カトリック教会 教会報



## 十字架の道行を考える



信徒のみなさま、いま、四旬節真最中。今月から4月第1金曜日まで毎週金曜日には十字架の道行が行われます。この十字架の道行にはどのような意味があるのでしょうか。

イエスがピラトの審問を受け、十字架を担がされゴルゴタの丘へ赴き、そして処刑、墓に収められるまでを擬して、聖堂内を延々と十四か所の「留」をめぐる。各「留」では、先唱が「主イエスキリスト、あなたは尊い十字架と栄えある復活によって世を救って下さいました」と唱え、一同は「私たちはあなたを礼拝し讃美します」と唱和します。福音書にもとづいたイエスの十字架への足取りが朗読され、それに対し一同は祈りのことばを捧げ、しばらく沈黙し、先唱が「主イエスキリスト」と呼びかけ、一同は「信仰の弱い私たちを助けて下さい。勇気をもってあなたの道を歩み、神と人々への愛に生きることが出来ますように」と祈ります。ざっとこのような朗読とお祈りが繰り返され、あいだにカトリック聖歌を歌います。先導者は重い十字架を捧げ持ちます。各「留」ほぼ同じことが繰り返されます。長々と続くので正直あんまり面白くないものです。しかし、これこそが真の信徒としての務めではないのでしょうか。イエスの苦難と葛藤を少しでも我が身にひき寄せ、己の信仰がこれで良いのかを問う貴重な機会だと思います。毎週とは言え平日の朝ですので、なかなか参加の叶わない方もおられると思います。でも、十字架の道行きは、復活の喜びに至るまでのいばらの道のりを深く胸に刻む重要な祈りです。ことしはのべ5回行われる十字架の道行にぜひ1回だけでも参加されたいかがでしょうか。各「留」の聖画をあらためて鑑賞するのもおすすめです。

ことしの十字架の道行は以下のとおりに行われます。3月6日と4月3日は初金ミサも。

3月6日/13日/20日/27日/4月3日(金) 10時

六甲教会では、カトリック中央協議会発行の『十字架の道行』小冊子を使用しています。

新型コロナウイルスが世界規模で広がってきました。大阪教区本部の要請に基づき、六甲教会では2月29日から3月14日までミサ(主日、週日とも)は行われず、その他の活動も中止または延期するのが望ましいとのことです。今月号に掲載した各方面の活動や行事予定は流動的ですので、その旨ご留意ください。(広報部)

## パパ様の光る「おことば」を味わう（第2回）

教皇フランシスコが来日されてから、早や3か月が経ちました。

先月号に引き続き、訪日中の数あるスピーチの中から、印象に残った「おことば」を拾い出して味わいます。青年との集い(東京聖マリア大聖堂)と殉教者への表敬(長崎・西坂の丘)でのスピーチの「抄録」です。なお、「抄録」に対応する「感想」は広報部員のペンネーム「陽」「希」が執筆しています。

### ☆青年との集いでの「抄録」

2019年11月25日 東京カテドラル聖マリア大聖堂にて



人を軽んじ、蔑むとは、上からその人を見下げる事です。相手を上から下へ見てよい唯一正しい場合は、相手を起き上がらせるために手を貸す時です。私も含め、誰かを軽んじて見下す人は、どうしようもない人です。でも、手を差し伸べ起き上がらせるために、下にいる人を見るのなら、その人は立派です。だから、誰かを上から下へ見るとき、心に聞いて下さい。自分の手はどこにあるのか、後ろにかくしてあるだろうか。それとも立ち上がらせるために、差し伸べているか、と。

大聖堂には約900人が集まり、教皇は若者3人の代表者によるスピーチの後、講話を語った。講話の中では「つまらない?」「もうすぐ終わります」と何度も挟み込み、小学生も混じる出席者の目線に立って話しかけられた。カトリック青年として、又取り巻く大人達も含めて、教皇のメッセージを深く味わい、霊的に成長し行動に移す事が「青年の集い」の成果になると思う。(陽)

### ☆殉教者への表敬の「抄録」

2019年11月24日 長崎・西坂の丘にて



ここは何よりも復活を告げる場所です。襲いくるあらゆる試練の中でも、最後は死ではなく、いのちに至ると宣言しているからです。わたしたちは死ではなく、完全な神적인いのちに、向かって呼ばれているのです。彼らは、そのことを告げ知らせたのです。確かにここには、死と殉教の闇があります。ですが同時に、復活の光も告げ知らされています。

はるか昔、宣教のため異郷の地で、あるいは遠い地の果てで生まれたゆえに、殉教した数多くのキリスト者を心に留め、自ら足を運ばれる教皇さまの思いをしっかりと受け止め、今なお世界のさまざまな場所で、信仰ゆえに今日も苦しみ、殉教の苦しみを味わうキリスト者と心を合わせ、ともに祈ることができますように。(希)

※教皇の写真は (c)Vatican Media また 教皇スピーチはカトリック中央協議会の翻訳文に則っていますが、「抄録」なのでその意味を違えることのない程度に表現を変えている部分があります。



## 2019年度 第5回小教区評議会 議事録(要約)

日 時:2020年2月2日(日) 12:00~13:20

場 所:信徒会館第4会議室

参加者(敬称略):アルフレド主任司祭、中村神父、中村治也(議長)、  
鍵山浩三(副議長)、保坂真理(副議長)、  
以下各部コーディネータ 書記 事務所

### 1. 主任司祭の挨拶

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっている。今後の推移にじゅうぶん留意。

### 2. 協議事項

#### (1)2020年度年間行事予定について

各信徒会、専門部会から提出された計画案に基づき2020年度今年4月から来年3月までの1年分予定の確認をした。

#### (2)2020年度小教区における平和旬間の進め方について

昨年から平和旬間については、各小教区で独自にすすめることになった。昨年は典礼部・宣教部・社会活動部の代表者がPJのメンバーとなったが今年未定。次回評議会に決定するというので今回は保留。行事は8月8日(土)を予定(年間行事予定表に反映)

### 3. 報告事項

#### (1)新しい小教区評議会規約について

昨年12月14日にカトリック大阪大司教区に提出した「カトリック六甲教会小教区評議会規約」は、前田万葉大司教が、教区長として認可(書面をもって認可とし、規約そのものへの署名は省略)した。

内容は、小教区において司祭が決定機関であり、評議会等は全て諮問機関であることを確認したもの。

#### (2)1月度神戸地区宣教司牧評議会(1月5日)報告 : 鍵山副議長

- ・東日本大震災(2011年)から始まった「復興の架け橋」の取り扱いについて当初取り決めた10年間(2020年まで)はそのまま継続。それ以降は検討することになった。
  - ・規約等で現行に合わない点が多々あり、現行に近い状態に変更・修正された。
- 役員構成(議長・副議長・会計・書記・監査)各1人任期1年、開催原則年2回等  
当教会は、2021年度からむこう5年間に5つの役が順次当たることになる。

#### (3)イエズス会4教会WEB会議(1月18日)報告: 広報部 詫

- ・各教会の近況報告を交換した。
- ・麴町教会から提案; 萩・津和野方面への巡礼を企画予定。山口を基点に各教会に呼びかける。詳細未定。

#### (4)その他 各部会からの報告

- ・評議会議長の件: 任期について、先の1年は副議長を経験後、次年度の1年は議長になる旨確認した。
- ・典礼部より: 2019年クリスマスミサについて  
2018年は17時ミサの参加者が多く多少の混乱があったが、2019年は17時ミサが子ども中心である旨週報で案内したため、各時間帯のミサ参加者数に偏りがなくスムーズだった。

次回小教区評議会は2020年3月8日(日)12時より 於: 信徒会館第4会議室

## 2019年度第6回地区役員会 議事録

日 時： 2020年2月9日 12:00～13:00

出席者： アルフレド主任司祭、小教区評議会議長、各地区新旧役員



### 1 2020年度地区役員メンバー紹介

### 2 教会行事報告

#### 1) 主の降誕夜半ミサお茶(2019/12/24)

東灘北1

・17時、19時、21時のミサ後、飲み物とお菓子を提供。

17時、19時の配分を多い目にする必要あり。

#### 2) 神の母マリアミサ後カウントダウン(2019/12/31)

林(聖)、鶴田

約60名がミサに参加、約40名が残られた。ココアを多い目に用意した。

飲み物、つまみを持参された方もいた。

#### 3) 新年会新成人祝福式(2020/01/12)

東灘南

イグナチオホールにて、11:20～12:30開催、約170名参加。(新成人3名、

受洗者2名、転入者4名参加)新成人紹介と記念品贈呈、洗礼者、転入者紹介と挨拶。

じゃんけんゲーム、アーメンハレルヤを合唱。

### 3 教会行事日程と行事担当確認

行事日程		担当
復活徹夜ミサお茶	2020/4/11(土)	東灘北2・芦屋
ご復活お祝い	2020/4/12(日)	地区役員会
2020年度 掃除当番表作成・印刷		・井川、長瀬
2020年度 教会行事日程表、地区連絡網配布		・藤井、田中

・2020年教会行事予定・連絡網配布に関して

-配布日 3/14(土)、3/15(日) 3/21(土)、3/22(日)の各ミサ前後

-2/29(土)に教会事務が宛名記入封筒を用意

各地区は、地区連絡網、掃除当番表、教会行事日程表、一斉地区集会のお知らせを

3/14(土)19時ミサ前後に配布できるよう封筒に入れて置くこと。

### 4 一斉地区集会(5/10 10時ミサ後)案 報告 灘南

・各地区集会部屋割り当てを決定。

・教会行事予定・連絡網配布封筒に一斉地区集会のお知らせを入れる。

・4月度教会報に一斉地区集会のお知らせを掲載する、週報掲載

信徒へのメール送信は開催日の2週間前から実施する。

・掲示板掲載用 A3 のポスターも作成する。

### 5. 2020年度地区役員会開催日

① 4/19 日	② 5/24 日	③ 7/19 日
④ 9/6 日	⑤ 12/5 土	⑥ 2/14 日

\*4/19日は13:00 \*12/5 土は大掃除終了次第開催

次回地区役員会は4月19日13時～

新型コロナウイルスへの緊急対策により3月は、すべての活動を中止します。

四旬節黙想会

～沈黙とミサ～

中止

指導:アルフレド・セゴビア神父

日時:2020年03月07日土曜日 14:00～

場所:神戸中央教会

## 管理部園芸係

六甲教会の入り口正面のモクレン(紫木蓮)の冬芽も膨らみ開花と同時にアルフレッド神父様のお手入れに忙しい日々が始まります。片柳神父様のブログでお馴染み、ベルタワーをバックにそそり立つハクモクレン(白木蓮)。紫、白共に品格と厳かさを感じさせてくれる樹木です。



今年のクリスマスローズは華やかに咲いています。植物は自然の変化に敏感です。地中海原産の植物ですから霜があたることなく暖冬の効用でした。

園芸係を担当し、四季を通じて教会内の木々を見て回るようになりました。先輩の方々が、聖書に登場する植物や、花言葉等から選ばれ教会にふさわしい植栽とお手入れをなさって来られた事を知ることが出来ました。



今春に向けて、若いお母様方がプランターの寄せ植え、花壇の植え替えに進んで参加してくださっています。若い皆様のアイデアも取り入れ、聖堂に繋がる花壇は皆様に優しく楽しんで頂けるデザイン考えていきます。

## □ 朝食会 □

ある日のミサ後、いつもの様に 信徒会館でコーヒーを飲み、楽しくおしゃべりしていました。突然、“朝食会”をして貰いたいとの話が出ました。トントン拍子に話が進み、気付くと翌月から“朝食会”がスタートしていました。

初めの2.3 か月は迷走状態でしたが、お手伝いのメンバーも4名に増えました。当日、7時頃に集まり準備を始めます。最近では皆様をお待ちする余裕も出来ています。

”朝食会“に集まって下さる方々は、平和のあいさつで お顔だけは知っていた方、いつも一人で食事されている方、いつもご夫婦だけでお食事されている方(笑)等です。又、手作りケーキ、ジャムのうれしい差し入れもあります。お互いにお名前がわかり 少しずつ輪が広がって「♪楽しいひととき♪」です。今は、内山さん中心でされていた朝食会の様に、毎週は出来ませんが お手伝いのメンバーが増えて”朝食会“の回数も多くなるのが理想です。

メニューは、卵サンドとジャムサンドのセット、フルーツヨーグルト、コーヒー 200円です。

第一日曜日 7時半ミサ後 20セットを用意して信徒会館でお待ちしています。

お誘い合わせの上 是非来て下さい。

スタッフ一同

## 神戸地区 静修会 回勅『ラウダート・シ』の呼び掛け

2月8日、今年の神戸地区静修会が明石教会において開催されました。

プログラムは、回勅『ラウダート・シ』“エコロジカルな霊性”に基づく松浦神父さまのお話、分かち合い、そしてミサです。

私たちがともに暮らす家、地球は叫び声を上げている、と言われて久しくなりました。

松浦神父さまのお話は具体的です。テクノロジーの進歩による恩恵は計り知れません。

一方で、それは必ずしも、健全あるいは環境に良いことばかりとは言いきれません。目の前にあるさまざまな情報を、正しく理解し認識することも大切です。そして、私たちに何ができるか？何をすべきか？

神父さまのお話の後、グループに分かれ、各地域ごとの状況、取り組み、課題などについて、分かち合いの時間をもちました。

現在、地球になにが起こっているか？ 原因不明の新型肺炎、度重なる自然災害、温暖化、海洋汚染など、環境を良くすることは、社会を良くすることにつながります。それぞれが与えられた課題に取り組んで行きたいと思えます。

## ◆ 春を待つ人々 ◆

2月の10日から15日まで久しぶりに東京に行き、お上りさんの気分を味わった。30年間も住み慣れていた土地ではあるが、まごついたり無駄足を踏んだりの連続だった。上智大の構内にあるSJハウスに宿り、多くの会員と直接に会うことができた。共に生老病死のサダメを負う生身の人として、時に目を背ける事柄、目を丸くする驚き、参りましたという敬服、正視に耐えない苦しみなど・・・随分と刺激的な日々をお蔭で過ごすことができた。そういえばトゲトゲシイ顔には出会わなかったが、よそよそしい顔は少しあったかもしれない。多くは満面の笑みで再会を喜び合ったが、それにつけても、あの時あの人に対する自分のシブイ対応をも思い出し、ホロ苦さも感じられた。とにかく年齢を重ねるという事は並大抵ではない。人生の途上に何が起きるか分かりようもなく、災難や病気はいきなり襲いかかり、その多くは防ぐすべも避けることもかなわない。「俺様に限っては」という自信や自慢、他の人を見下し裁く特権を誰も持ちあわせていない。

数多くの風雪に耐えながらも、持ち場に懸命に生き働き祈り耐えている人々が大勢いることに、私自身が遅ればせながら気づかされた。直接に話し合えた人は必ずしもイエズス会の司祭ばかりではなかったが、彼らとの親しい出会いを通じて、今や我が身を真剣に顧みる必要に迫られている。共に老いや病を抱え多くのママナラサを担いながらも、仲間として兄弟姉妹と

して連帯感と親近感を各自の持ち場で深めていきたい。現実的に考えてみれば、今は管区長から直接に任命を受けた六甲教会こそ私の居場所であり、生き働き祈る現場そのものである。別の教会や教区で働く夢や幻に迷わされてはならない。この結論こそは、貴重な回心の体験というべきなのか、今回の旅で戴いた大きな恵みの確信である。ここで私に出来ることは何かないか、必要とされている働きはないのか、周りの状況を見定め皆さんの意見もよく聞きながら選定していきたい。どうぞ遠慮なく具体的な提案をお願いしたい。

今回の東京訪問を終えて、いま自分としてやれそうなことが一つ二つ思い浮かぶ。その一つはプロテスタントの仲間との関係である。三宮に行けば専門的な聖書講座が開かれており、超教派で行う定期的な祈りの集いもある。将来的には聖書を中心に据えて、所属教会という枠や相違を越えた相共にキリスト者として、研究や祈りの分かち合いの場が開かれる可能性もありそうだ。さらに夢をふくらませれば、何とかして若い人々がイエズスと出会えるように道を整え広げ、少しでも関わりを深めるアガキをしてみたい。道にも町にも若者があふれ、外国から来た学生や技術研修生が必死で苦しく生きている。

「主よ、あなたがお呼びになりました。私はここに居ります、どうぞお話しください、<sup>しもべ</sup>僕は聞いております。」

中村健三 合掌

【 2020年3月予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
四旬節第1主日 洗礼志願式  ◎日曜班					十字架の道行 10:00 初金曜日ミサ 07:00 10:30	結婚準備セミナー⑥
8	9	10	11	12	13	14
四旬節第2主日 小教区評議会 12:00					性虐待被害者のための 祈りと償いの日 十字架の道行 10:00  ◎灘北1・北・三田	社会活動部炊き出し 結婚準備セミナー⑦ 教会学校 卒業式・終業式 卒業合宿(~15日)
15	16	17	18	19	20	21
四旬節第3主日 ふれあい広場	三日月会 ミサと懇親会	日本の信徒 発見の聖母		聖ヨセフ	十字架の道行 10:00  ◎灘北2・阪神	結婚準備セミナー⑧ 教会学校練成会 (~22日)
22	23	24	25	26	27	28
四旬節第4主日			神のお告げ	◎定期清掃	十字架の道行 10:00	教会学校2年生 1日練成会
29	30	31				
四旬節第5主日						

◎は掃除当番地区です

<p>次回4月号の発行は、3月28日(土)です。</p> <p>原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持参 いただくか、FAX やメールでお願いいたします。</p> <p>皆様からの原稿をおまちしております。</p> <p style="text-align: right;">(広報部)</p> <p><a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a></p>	<p style="text-align: center;"><b>六甲カトリック教会</b></p> <p>〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21</p> <p>電 話 078-851-2846</p> <p>F A X 078-851-9023</p> <p>E - メ ー ル renraku@rokko-catholic.jp</p> <p>発行責任者 アルフレド・セゴビア</p> <p>編 集 広 報 部</p>
---	---